

平成30年度 第2回 茨木市総合交通戦略協議会

平成30年11月19日

■ 中間見直しの進め方

検討のスケジュール

H30年 5月

1. 指標の中間評価

6月

7月

2. 交通施策の検討

8月

9月

10月

11月

12月

H31年 1月

3. パブリックコメント

H31. 1. 1~1. 21(予定)

2月

3月

4. とりまとめ

○協議会等

■ 第1回協議会(H30.8.28)

- ・ 施策の進捗の確認
- ・ 評価指標の状況確認

■ 第2回協議会(H30.11.19)

- ・ 評価指標の目標達成に向けて必要な取り組み(素案)の確認

■ 第3回協議会(H31.2頃)

- ・ 中間見直し結果のとりまとめ

■ 前回協議会の内容と
本日ご意見をいただきたい
ポイントについて

■ 前回協議会の内容について

茨木市総合交通戦略の中間見直しの報告

○茨木市総合交通戦略中間見直しの趣旨について説明

○各施策の取組状況について説明

実施済：7件、事業中：32件、調整中：3件

○評価指標の状況について説明

状況確認した指標のうち、自転車交通量のみ目標未達成



中間見直し内容のとりまとめ

○前回協議会の報告内容と主な意見への対応、今後の取組内容を「茨木市総合交通戦略 中間見直し」としてとりまとめ

茨木市総合交通戦略

～ 住みやすい・移動しやすいまちを目指して ～

中間見直し



平成 31 年 (2019 年) 3 月



■ 本日も意見をいただきたいポイント

1. 前回協議会の意見と対応について

- ・主な意見とその対応内容について確認

2. 今後の取り組み施策について

- ・交通戦略に定めた施策の他、新たに取り組みを始めた施策について確認

■ 前回協議会の意見と対応について

第1回協議会の主な意見とその対応

	主な意見	事務局の対応	冊子 ページ
交通施策 の取組状 況につい て	<ul style="list-style-type: none"> 中間見直しは交通戦略策定当時に決まった戦略の内容をベースに検討していくのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 本協議会は交通戦略策定当時に決まったものについて、その進捗を中心に議論する場です。 時代に沿った施策は別途挙げていただけますと、取り組み検討の参考とさせていただきます。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> 外国人の留学生や労働者、インバウンドの交通移動も加味されていくのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 現時点で外国人の方の顕著な移動はみられません。市内のサイン計画等検討時には外国人来訪者も含めて検討させていただきます。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> 山間部の新名神、名神の付近に大規模な配送センターが建設、市内の大型トラックの交通量が増えていると考える。その交通量への対応はどのように考えているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 大阪府、国や警察と連携し、渋滞対策の一貫として交通量調査し、その結果をもとに対策を検討します。 また、各企業に対し、通行時間帯の変更を促すことや、新名神へのアクセス道路の整備を進めて参ります。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> JR茨木駅東口の駅前広場は横断時に信号で待たされ、改札へ上がるエスカレーターも歩道に繋がっていないものもある。歩行者の視点で計画されているのか疑問である。 	<ul style="list-style-type: none"> JR茨木駅の東口は信号処理をしなければ自転車、歩行者、自動車が錯綜した状況となり、安全性の観点から信号機を設置しています。 エスカレーターは、駅の整備基準に基づいて整備しており、歩道だけではなく、バスの乗り換え利便性等も考慮しています。 	—

第1回協議会の主な意見とその対応

交通施策の取組状況について

主な意見	事務局の対応	冊子ページ
<ul style="list-style-type: none"> バス停や駅に向かうときに段差が多い歩道がある。バス停や駅に歩行者が便利に安全に移動できるような施策が打ち出せないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 段差の解消や歩道整備等を含めた利用環境向上を図って参ります。 	—
<ul style="list-style-type: none"> 歩行空間のバリアフリーでは、JR茨木駅西口から大阪高槻京都線の茨木郵便局前に歩道橋がある。車椅子利用者は横断できない状況であるが、対策は検討しているのか。 エレベーターの設置を用地が確保できた所から整備できないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 郵便局前の歩道橋はエレベーターやスロープの設置は用地買収等で困難な状況であり、歩道橋撤去も交通量の状況から難しい状況です。 バリアフリーの状況については、関連計画であるバリアフリー基本構想協議会で適宜情報提供いたします。 4方向すべての交通を確保する必要があるため、1箇所でも用地確保が難しくなると、機能しなくなります。今後、最適な対応方法について検討します。 	—
<ul style="list-style-type: none"> バリアフリーについて5年で結論が出ない場合は、計画見直しになるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的にバリアフリーは市として重要な取り組みと考えておりますので、計画年内に出来ない場合は次の計画に引き継ぐことを考えています。 	—

第1回協議会の主な意見とその対応

	主な意見	事務局の対応	冊子 ページ
交通施策 の取組状 況につい て	<ul style="list-style-type: none"> 現在の自転車レーン(法定外標示)は自動車と自転車が錯綜する危険を伴うものと考えている。歩行者と自転車の分離は重要だが、今後の計画ではより安全性の高いものにする必要があると考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 自転車専用道を整備することが望ましいと考えますが、用地取得や道路の再配分等課題があるため、車道における通行位置を示した路面標示で対応しています。歩行者、自転車、自動車が共存する形で今後も整備・推進したいと考えています。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> JR茨木駅の西口再整備の状況やスケジュールを教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 西口の再整備は駅前広場だけではなく、老朽化しているビルも含めて再整備していきたいと考えています。ビルの管理者や周辺の居住者を含めて一緒にまちづくりを進めていく予定で、再整備に向けて合意形成を図っている状況です。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> 駅前の駐輪場は供給量は足りているのか。現状の状況を教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 駅から遠いところは空いているのが現状です。一方、駅周辺の駐輪場は空きが少ない状況です。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> レンタサイクルの検証はどのように行われるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用状況について報告します。 	P106
	<ul style="list-style-type: none"> 違法駐車に関する施策はないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 渋滞対策の一環として対応しています。 	P73
	—	<ul style="list-style-type: none"> 乗り継ぎ施策の代替施策検討について修正しています。 	P12

第1回協議会の主な意見とその対応

	主な意見	事務局の対応	冊子ページ
評価指標の状況について	<ul style="list-style-type: none"> 自転車交通量の計測は枚方茨木線の地点で良いのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 自転車交通量の計測は茨木交通戦略策定時に協議し決定した調査地点のため、同一地点の交通量に基づき評価します。 参考として、各調査地点の交通量変化を把握したところ、交通量が増加している地点の方が多い結果です。 	P94
	<ul style="list-style-type: none"> 評価指標は目標達成の文字も強調されており、グラフも0を基準にしているものやそうでないもの等ある。 	<ul style="list-style-type: none"> とりまとめにおける参考とさせていただきます。 	P90～
	<ul style="list-style-type: none"> 市内の人身事故発生件数は減っているが、全国の件数等と比較して、相対的に比較して減少しているのかという観点から整理できないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 大阪府全域の傾向と比較したものを掲載します。 	P90
	<ul style="list-style-type: none"> 評価は市全体の傾向と、個別にみた傾向を分けた視点も必要ではないか。評価指標の目標達成しているが、一方で残っている課題を認識しているのであれば、その点を説明してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在市として認識している交通課題を整理し、今後の取り組み施策について報告します。 	P95～

第1回協議会の主な意見とその対応

	主な意見	事務局の対応	冊子ページ
	<ul style="list-style-type: none"> 茨木市の全体的な人口動態は変わってきているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内の人口動態について報告します。 	P96
<p>今後の取組施策について</p>	<ul style="list-style-type: none"> 福祉有償タクシーは交通戦略の中で今後どのように位置づけていくのか。 福祉有償運送ですべてが網羅できるわけではなく、ひとつのセーフティネットとして位置づけていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 庁内での連携も含め、福祉有償運送と公共交通の役割及びそれらの交通戦略での位置づけや今後の取り組みを検討しており、その状況を報告します。 	P99
	<ul style="list-style-type: none"> 山間部との意見交換やアンケートはどの地域で実施されているのか。 路線バスが減便・廃止となった場合、茨木市としての考え方はいかがか。 北部地域のバスを現状どおり維持することは難しい。当時と異なり、バス業界は運転士の確保が難しい状況にある。今後、走り手がいないために減便、廃止になる地域が出てくることも予測される状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> 銭原と上音羽地区の2地区で意見交換会を実施しています。 移動手段については、地元を中心とした自主的な活動をいただけるような移動形態の実現性をふまえて、事例等確認しており、検討内容について報告します。 	P100～

第1回協議会の主な意見とその対応

	主な意見	事務局の対応	冊子ページ
今後の 取組施策 について	<ul style="list-style-type: none">過疎地のバス運行が厳しくなるということで、自動運転等の技術導入の検討もするのか。自動運転になれば茨木市の交通課題もいくつか改善するのではないか。	<ul style="list-style-type: none">今後の施策検討の際の参考とさせていただきます。	P109
	<ul style="list-style-type: none">連節バスは、1台で2台分の容量になるので、検証しながら人件費を減らすような対策のひとつとして検討してはどうか。	<ul style="list-style-type: none">今後の施策検討の際の参考とさせていただきます。	P109
	<ul style="list-style-type: none">大阪北部地震で、公共交通が機能していなかった。大阪の中心部だけではなく茨木でも災害時の交通を考えることが重要ではないか。	<ul style="list-style-type: none">今後の施策検討の参考とさせていただきます。	—